Press Release

日英演劇アカデミー国際交流公演
新国立劇場演劇研修所 ＆ マンチェスター・メトロポリタン大学演劇学校

『怪物／The Monster』

作：アゴタ・クリストフ　翻訳：堀 茂樹／バート・スメット
演出：田中麻衣子

【日本語英語上演／日本語英語字幕付】

2019 年 8 月 3 日（土）～5 日（月）
新国立劇場 小劇場

日本と英国のアカデミー生が競演。日本語と英語が飛び交う刺激的な舞台

新国立劇場のオペラ・バレエ・演劇の三研修所は、近年、海外のアカデミー生との国際交流に力を入れています。昨年の世界若手オペラ歌手ガラ・コンサートに引き続き、今年度は演劇研修所が「日英演劇アカデミー国際交流公演」を実施。英国の優秀な俳優養成機関として知られるマンチェスター・メトロポリタン大学演劇学校の学生 10 名を迎え、演劇研修所第 14 期生（2 年次生）12 名が、アゴタ・クリストフの戯曲『怪物』に挑みます。開所当初より研修所公演に携わる、新進気鋭の演出家、田中麻衣子による、日本語と英語が飛び交う刺激的な舞台をお贈りします。どうぞご期待ください。

Manchester Metropolitan University
マンチェスター・メトロポリタン大学

新国立劇場
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO
新国立劇場

■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ
新国立劇場　研修主管　広報担当　**田村昌子**
Tel: 03-5352-5770 / Fax: 03-5352-5776　Email: press@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 演劇研修所ホームページ
https://www.nntt.jac.go.jp/play/training/

■新国立劇場 演劇研修所 Facebook　最新情報はこちら！
https://www.facebook.com/nnt.dramastudio.tokyo/

■新国立劇場 演劇研修所 twitter　最新情報はこちら！
https://twitter.com/nnt_dramastudio/

新国立劇場
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

公 演 概 要

脚　　本：　アゴタ・クリストフ
翻　　訳：　堀 茂樹　　バート・スメット
演　　出：　田中麻衣子（新国立劇場演劇研修所コーチ）

美　　術：　伊藤雅子
照　　明：　中川隆一
音　　楽：　国広和毅
音　　響：　黒野 尚
ステージング：　篠崎芽美
衣　　裳：　西原梨恵
ヘアメイク：　川端富生
演 出 助 手：　菅井新菜
舞 台 監 督：　野村久美子

出　　演：　新国立劇場演劇研修所 第 14 期生　12 人
マンチェスター・メトロポリタン大学演劇学校 2 年生　10 人
パーカッション　鈴木 佑

演劇研修所長：　宮田慶子
主　　催：　新国立劇場
協　　力：　マンチェスター・メトロポリタン大学演劇学校
制　　作：　新国立劇場
演技指導(英国)：　David SALTER
ﾑｰｳﾞﾒﾝﾄ指導(英国)：　Emma BONNICI
後　　援：　ブリティッシュ・カウンシル

会　　場：　新国立劇場　小劇場

日　　程：　2019 年 8 月 3 日（土）　15:00
4 日（日）　14:00　※託児サービス利用可
5 日（月）　14:00
※開場は開演の 30 分前です。
※4 日(日)14:00 のみ、託児所のご利用が可能です。

料　　金：　A　席　3,240 円／B　席　2,700 円／学生券　1,000 円／Z　席　1,620 円
※Z 席は公演当日、ボックスオフィスのみでの販売。
※枚数制限はありません。就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
※会員割引を含め、各種割引はございません。
※車椅子ご利用のお客様はボックスオフィスまでお問い合わせください。
※学生券はボックスオフィスの窓口・電話にて受け付けます。
お引き取りの際には、学生証または年齢を確認できるものが必要です。

チ ケ ッ ト：　新国立劇場ボックスオフィス／Web ボックスオフィス
03 - 5352 - 9999／https://pia.jp/nntt/

チケットぴあ【P コード：494-338】
0570 - 02 - 9999／https://pia.jp/t

前　　売：　アトレ会員先行発売期間　2019 年 6 月 10 日（月）～6 月 17 日（月）
一般発売日　2019 年 6 月 19 日（水）10:00～

ものがたり

この世界のあるところに、ある日、怪物が出現した。
大きなおぞましい怪物。
人肉を食べて肥え太っていく怪物に、住民たちはなぜか好意を持ち始める。
若者ノブはひとりで戦いつづけるが……。

ス タ ッ フ

脚本：アゴタ・クリストフ （Ágota KRISTÓF）　作家・劇作家（1935－2011）

1935年ハンガリー生まれ。56年のハンガリー動乱の折り、西側に亡命して以来、スイスのヌーシャテル市に暮らした。86年、パリのスイユ社から出版されたフランス語のデビュー小説である『悪童日記』によって、一躍脚光を浴び、その後、88 年に『ふたりの証拠』、91 年に『第三の嘘』を発表して三部作を完成。これらは世界 20 カ国以上で翻訳されている。ほかに、戯曲集『怪物』『伝染病』、2004 年には自伝『文盲』、05 年には短編集『どちらでもいい』を発表。11 年 7 月没。

翻訳：堀 茂樹（ほり・しげき）

慶應義塾大学名誉教授
専門はフランスの思想と文学。アゴタ・クリストフの『悪童日記』三部作や戯曲集の訳者として知られ、A・エルノー『シンプルな情熱』、ヴォルテール『カンディード』など、文学領域の訳書多数。また、人類学者 E・トッドの翻訳者でもあり、近著に『戦争、軍隊、この国の行方；9条問題の本質を論じる』（共著）がある。 市民の勉強会「オイコスの会」共同代表 、アンスティチュ・フランセ東京の講師および哲学アトリエ司会者。

翻訳：バート・スメット（Bart SMET）

作家、翻訳家。ロンドン在住。
『怪物』について、翻訳者のことば（一部抜粋）
「私たちはなにも学べないのだろうか？戦争はいまでも世界中で続いている。私たちは過激派を非難するが、英国は Brexit（EU 離脱）を実行せんとしている。世界で最も開放的な都市の一つであるロンドンでさえ、人種差別は依然として日常的である。私たちは守りに入りたいが、開いているべきだ。私たちは生きるために自分本位でいなければならないが、一人では生きていけない。『怪物』で描かれるような世代間の断絶はこれからも続いていく。もし私が今知っていることを、あのとき知っていれば、……。」

演出：田中麻衣子（たなか・まいこ）

日本大学芸術学部演劇学科卒業。串田和美氏や栗山民也氏の演出助手を多数つとめる。演出作品に『どうぶつ会議』『トミイのスカートからミシンがとびだした話』『Shakespear’s R&J』『ある階段の物語』『リリオム』『ロミオとジュリエット』『血の婚礼』『胎内』『罪と罰』など。2014 年文化庁文化庁派遣新進芸術家制度でロンドンにて研修。現在、新国立劇場演劇研修所コーチ。Théâtre Muibo 主宰。

演出家からのメッセージ

ハンガリーに生まれ、亡命先の言語であるフランス語で作品を書き続けたアゴタ・クリストフ。そのフランス語の戯曲を、日本語と英語で、２０世紀の終わりと２１世紀の始まりに生まれた俳優たちが演じます。
日本では３０年続いた平成が終わり、イギリスは EU 離脱に向かう。
未来を手にしているはずの若者たちは、この現在をどう受け止め、どんな肌感覚で表現するのでしょうか。
多くの演劇がそうであるように、これは一人の作家の言葉を出発点に、過去と現在と未来を見つめる作品になります。特別なことは、これが、２２人の同世代の若者たちによって紡がれるストーリーだということです。

田中麻衣子

出演者

新国立劇場演劇研修所 第 14 期生 12 人

五十嵐遥佳　伊藤 麗　加部 茜　星 初音　前田夏実　渡邊清楓
今井公平　大西 遵　佐藤勇輝　田畑祐馬　仁木祥太郎　濵田千弥

マンチェスター・メトロポリタン大学 演劇学校 2 年生　10 人

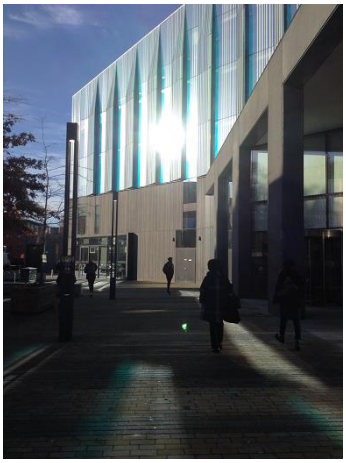
Bailey BROOK　Hannah BROWNLIE　Georgiana CASBARRA
Garion FRITH　Tom GARSIDE　Kieron JACKSON　Gina JAMIESON
Izzy MCKENTY　Lori NICHOLSON　Paddy STAFFORD

マンチェスター・メトロポリタン大学

マンチェスター・メトロポリタン大学（MMU：Manchester Metropolitan University）は英国でも最大規模の大学の 1 つで（総学生数 30,000 名以上）、多数の留学生（119 カ国 2164 名以上）も学んでいる、国際感覚あふれるキャンパスです。また、さまざまな形で伝統的なものと最新鋭のものが融合しているのも特徴です。校舎は近代的なものと 19 世紀に建てられたものの両方が活用され、数学、英語・英文学、法学などのコースから、小売業マーケティング、産業デザイン、スポーツ科学、コミュニケーション・メディアなど新しいコースまで幅広く設置されています（7 学部 400 以上のコース）。

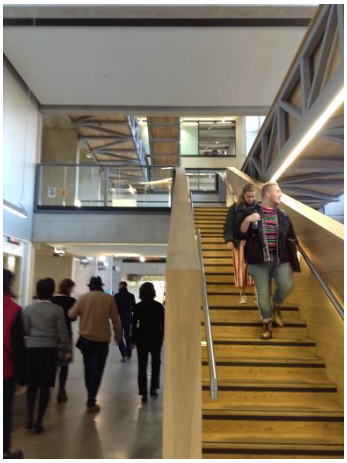
マンチェスター・メトロポリタン大学演劇学校

英国で最も優れた演劇学校のひとつと称される MMU は、プロの俳優、演劇スタッフを養成し、演劇、映画、テレビ、ラジオの現場で活躍できる人材を輩出しています。3 年制で、フィジカル・シアターやスタニスラフスキー、ブレヒトを中心とした教育方針。2021 年開場に向けて、大学構内に劇場・稽古場を建設中。



マンチェスター・メトロポリタン大学構内

演劇学校が所属する芸術学部棟の伝統的な建物



新しい芸術学部棟内部

パーカッション：鈴木佑

新国立劇場 演劇研修所について

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を目指して、2005 年に設立されました。
研修期間は 3 年間で、原則として週 5 日間、午前 10 時 30 分～午後 6 時のレッスンを、年間を通して行っています。1・2 年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣による基礎的な訓練およびシーンスタディを行い、3 年次には修了に向けて数本の舞台実習公演を行います。
修了生は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演、映像作品への出演、声の仕事など、活躍の場を広げています。

【今後の主な修了生出演作品】

新国立劇場 2018/2019 シーズン『オレステイア』
（原作：アイスキュロス、作：ロバート・アイク、翻訳：平川大作、演出：上村聡史、2019 年 6 月）
チョウ ヨンホ（第 4 期生）、草彅智文（第 9 期生）、髙倉直人（第 10 期生）

『北齋漫畫』
（作：矢代静一、演出：宮田慶子、2019 年 6-7 月）
吉田健悟（第 7 期生）

劇団青年座　第 237 回公演『明日-1945 年 8 月 8 日・長崎』
（原作：井上光晴、脚色：小松幹生、演出：鈴木完一郎、演出補：山本龍二、2019 年 7 月）
角田萌果（第 10 期生）

地人会新社第 9 回公演『リハーサルのあとで』
（作：イングマール・ベルイマン、訳：岩切正一郎、演出：栗山民也、2019 年 9 月）
森川由樹（第 6 期生）

新国立劇場演劇 2019/2020 シーズン　シリーズ【ことぜん】Vol.1　『どん底』［新訳上演］
（作：マクシム・ゴーリキー、翻訳：安達紀子、演出：五戸真理枝、2019 年 10 月）
長本批呂士（第 3 期生）、クリスタル真希（第 4 期生）、今井 聡（第 4 期生）、永田 涼（第 10 期生）、福本鴻介（第 12 期生）

ホリプロ『カリギュラ』
（作：アルベール・カミュ、翻訳：岩切正一郎、演出：栗山民也、2019 年 11-12 月）
西原やすあき（第 2 期生）、原 一登（第 4 期生）、野坂 弘（第 7 期生）、峰﨑亮介（第 7 期生）、
坂川慶成（第 8 期生）、川澄透子（第 11 期生）、小比類巻諒介（第 11 期生）

KAAT・KUNIO 共同製作 KUNIO15『グリークス』
（編・英訳：ジョン・バートン、ケネス・カヴァンダー、翻訳：小澤英実、演出・美術：杉原邦生、2019 年 11 月）
藤井咲有里（第 2 期生）、永井茉梨奈（第 12 期生）、中坂弥樹（第 12 期生）、

ほか、テレビ・映画・CM など

本公演に出演する第 14 期生は、2018 年 4 月に入所。演劇研修所では、通常 3 年次より舞台に登場しますが、本公演で 2 年次である 14 期生が、早くも舞台デビューとなります。

2019 年 2 月第 12 期生修了公演『るつぼ』

2019 年 2 月 第 14 期生シーンスタディ『宮城野』発表授業